

「安曇野市過疎地域持続的発展計画（案）」に関するパブリックコメントについて（実施結果）

1 募集期間 令和4年9月27日（火）から同年10月26日（水）まで

2 募集結果 11件（10個人、1法人）

3 安曇野市過疎地域持続的発展計画（案）に関する意見等一覧

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問（概要）	市の回答・考え方
1	1	1 基本的な事項	<p>【エリアビジョンの策定】</p> <p>蝶々の里、野鳥の飛来地、フォッサマグナなどのジオパーク、明科廃寺をめぐり白鳳時代の大和朝廷と安曇野の関係性、篠ノ井線開通に向けた明治大正の近代史と安曇野など地理歴史文化などテーマが豊富。</p> <p>また、三川合流地点は、アルプスからの水がすべて集まるパワースポットとしての位置づけ。</p>	<p>明科地域単独でエリアビジョンを策定する予定はありませんが、各過疎対策事業を進める際には、必要に応じて目標やロードマップ等を示すビジョンや計画を作成してまいります。</p>
2	1	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成	<p>【移住定住推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置(民間の団体への経費の支援) ・空き家コーディネーターの設置、育成 ・シンポジウムの開催(まちあるき見学会、シンポジウム、交流イベントなどを同時開催、イベント開催経費の補助) ・空き家物件の購入のためのファンドを設定(公設ファンド) ・不動産開発(エリアビジョンから今後の展開をオープンに説明会で) ・分譲地開発(定住人口。民間) ・駅前ホテル、ゲストハウス、民泊所の誘導(滞留人口) <p>【空家対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良質でデザイン性の優れた住宅を集積(建築家の設計料などを補助) ・空き家のリノベーション(用途の変更、しつらえをモダンに。建築物を大切に維持) 	<p>不動産開発や分譲地開発、駅前ホテル等の誘致については、民間事業者からの提案があれば、現行の制度を勘案し積極的に支援してまいります。</p> <p>移住定住等のご提案については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
3	1	3 産業の振興	<p>○林業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野産松枯れ材(ブルーステイン)のブランド化 <p>○商工業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小零細企業のものづくり、発信支援(展示販売) <p>○雇用創出・創業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性創業者輩出日本一の地域に(長野県産業労働部創業サービス産業支援室連携) ・創業支援(相談窓口、関係機関紹介、金融取引、補助金等公的支援紹介) ・フリーランスから、法人化へ事業を進展し、雇用を創出など伴走型支援 <p>以上をワンストップで相談窓口を設ける</p> <p>○交通の要衝 (広域連携)・安曇野の玄関口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・域内の3次交通(2次交通は新あづみん) ゴルフカートタクシー乗り降り自由(100円)(デリシアへの買い物容易に。宮本方面、押野方面、潮沢方面へのアクセス)地域内宅地をネットワークで支える ・民間のシェア事業所などを発着所にするなど民活 ・長峰山山頂、廃線敷、せせらぎにカートタクシー接続(ゴルフ場と同様に自動運転可能) ・空き家のゲストハウス転用に補助金支援 ・スカイドームの屋根の撤去で、展望を確保。 	<p>松枯れ材の活用については、現在「さとぶろ。」の「里山木材活用プロジェクト」等でも取り組んでいるところで、その活動を引続き広げてまいりたいと考えております。</p> <p>また、地域内交通に関するご提案については、11月からデマンド交通に新システムを導入していることから、まずはこの利用促進を図ってまいります。</p> <p>その他ご指摘いただいたご意見については、いずれも左記施策区分の計画欄において、林業については「里山再生計画推進事業」、商工業及び雇用創出・創業支援については「商業事業者支援事業」及び「企業助成事業」、空家に関しては「空家等対策事業」に対する具体的ご提案として検討してまいります。</p> <p>なお、スカイドームについては悪天候時の通行に支障をきたすことから、現在のところ屋根の撤去は考えておりません。</p>
4	1	4 地域における情報化	<p>あづみ野 FM のサテライトスタジオを明科区内に設けて、まちのひととの接点を設ける。市内全域に発信(既存の施設の有効活用)</p>	<p>現在あづみ野FMのスタジオは明科地域の産業団地内に設置されています。現時点で市としてまちなかへ誘致する予定はありません。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
5	1	5 交通施設の整備、交通手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・明科－穂高間のコンパクトシティ間のおづみん連続運行(小型で十分も、頻度と早朝深夜便が重要) ・明科発着の北陸方面特急バス(松糸道路を視野に) ・トランスビュー四季島の停車(安曇野観光の乗降地、エクスカーショント提案穂高地域への展開) 	<p>地域内交通に関するご提案については、この11月からデマンド交通に新システムを導入していることから、まずはこの利用促進を図ってまいります。</p> <p>その他ご提案については、運行主体である運輸事業者から意見を伺いたいと思います。</p>
6	1	9 教育の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・退職教師による公設塾。寺子屋の支援。 ・特色ある教育、学力向上のモデル事業(文部科学省) ・地域における人材の育成(ボランティア組織。 NPO法人) 	<p>ご提案については、計画のうち左記施策区分の「ア 学校教育（その対策）」の項目において取組むこととしている「コミュニティスクールの活性化」や「安曇野の時間（仮称）」の創設等に当たっての参考とさせていただきます。</p> <p>3項目のご提案については、「2 移住・定住・地域間交流の促進」及び「10集落の整備」に位置付けた「協働のまちづくり推進事業（人材の発掘・養成）」の参考とさせていただきます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
7	2	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成	<p>明科地域は地形的に非常に狭い土地に集落が点在しており、安曇野市の中でもまち中心部への集約が難しい地域と思います。</p> <p>新たな土地の開発も地形的な課題から難しく、既存の空き家など活用、また空き土地の利用のためのまちなか道路の拡幅なども進めていく必要があると考えます。ただ、明科のまちの路地はそれ自体も観光的には魅力的であることから、残しつつ地権者の同意も得ながら進める必要があり、容易ではない事は理解していますので、住民との話し合いは必要に思います。</p> <p>一方、計画案にもあるように、あずさの高速化が困難な中、北陸新幹線、長野経由による首都圏からの訪問は松本経由より時間が短く、観光やビジネス面では有利と考えます。</p> <p>しかし宿泊場所がほぼなく、電車で訪問する人は川を渡った場所まで何らかの形で移動しなくてはなりません。レンタカーなどの営業所も近くにはないようであり、ビジネス利用も可能な宿泊施設は増やす必要があると思います。</p> <p>また、北アルプスの眺望と言う点で優れた場所であり、アウトドアには恵まれた場所です。</p> <p>犀川を使ったポート、また河畔や段丘上の古道のウォーキング、里山のトレッキング、トレイルランニングやサイクリング。長峰山頂上広場からはスカイスポーツを楽しむ人もいます。</p> <p>すでに施策として掲げられているアウトドアでの利用促進は、これに関わる事業者の誘致にもつながり、雇用の場所が生まれると考えられます。このような事業は若い人の活躍しやすい場所でもあり、地元で生まれ育ち地元の学校を卒業しても定着できる環境づくりにもつながると考えられます。</p> <p>そのために明科高校にアウトドアスポーツやホスピタリティなどアウトドア事業に特化した学科を設置すれば、学校存続にも有効と考えます。</p> <p>アウトドアの拠点となる施設は駅周辺に整備すべきですが、大がかりな施設は維持にも問題があります。以前、明科駅に付随する利用されていないスペースに観光協会の誘致を要望しましたが、設置できなかった経緯があります。そして、車で来られる利用者の駐車場整備も必要です。</p> <p>富士見駅には移住の相談所がありますが、休日は開いておらずもったいないと感じました。観光案内所に移住に関するコーナーを設置する事は、安曇野市全体でも検討すべきと感じています。</p> <p>筑北スマートインターの開業で国道403号の交通量は増えると思われます。</p> <p>現在、廃線敷ウォーキングでは第2白坂トンネル駐車場から潮神明宮まで歩く際、トイレが簡易である事と携帯が繋がりにくい事がネックとなっています。資材置き場のような状態も見たいにも良くないです。</p> <p>朝夕やお昼頃を中心に移動式販売車による地場野菜や観光土産の販売、キッチンカーなどが出店できるスペースとして整備する(ふだんはトイレのみでよい)新たな道の駅の形としての整備をお願いしたいです。</p> <p>将来、松糸道路が整備された時の接続道路として、通過する車を短時間でも引き留める魅力があると思います。名九鬼～木戸の国道拡幅に課題が生じている事は承知していますが、将来の可能性について、是非、住民の理解が得られればと思います。</p>	<p>まちなかの道路については、現在、明科駅前整備と併せて一部区間を整備しているところです。本件については、今回のパブリックコメントで他の皆様からも路地の活用や周辺整備等のご意見もいただいています。</p> <p>左記のご意見については、他の事業と併せて検討していきます。</p> <p>宿泊施設については民間による出店が望ましいと考えますが、まずは出店に値する地域の賑わい創出のための取組みが必要と考えます。</p> <p>廃線敷については、市としても観光スポットの一つとして積極的に活用したいと考えているところです。令和4年度も看板や木橋の修繕を行いました。今後も整備を進めていきたいと考えていますが、各所との調整が必要な部分もありますので、ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>明科高校への専科設立についても多くご提案を頂いているところですが、こちらについては県への要望も含め検討させていただきます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
8	3	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成	<p>(魅力的な宅地、住宅の供給)</p> <p>①宅地不足 【問題点】 明科地域は長峰山と犀川にはさまれており、平地が極めて少なく、さらに農地法により宅地転用できない場所もあり、宅地が不足している。 【対策案】 町区や潮区にある農地の宅地への転用を可能にし、地権者に対し宅地化へのアプローチ、住宅地開発業者の誘致、住宅地へのアクセス市道整備などを官民協働で行う。</p> <p>②市有地空き地の利用 【問題点】 明科駅裏の上手上郷地区にある市営住宅一部解体後の空き地が放置されている。 【対策案】 宅地用に分譲を行ってほしい。</p> <p>③空き家・空き店舗対策 【問題点】 人口減により明科地域に空き家・空き店舗が増えてきており、当委員会でもまち歩き空き家・空き店舗見学会を実施し、移住者とのマッチング会を実施しておりますが、所有者不明物件や物件提供に消極的であったりと、紹介物件が不足している。 【対策案】 市の政策として、所有者不明物件の調査や物件提供に消極的な所有者へのPR活動を行い、紹介物件数の増加を望む。</p>	<p>①②に関しては、土地利用基本計画の区域変更等を伴うほか、ハザードマップ上の位置付けも考慮する必要があることから、慎重に検討してまいります。</p> <p>③については、計画にも「空家等対策事業」を盛り込んでおり、現在もすでに紹介物件増加に向け取り組んでいることから、これを引続き進めてまいります。</p>
9	3	3 産業の振興	<p>(観光地開発による知名度UP)</p> <p>①長峰山頂(天平の森)開発 眺望豊かな長峰山頂にアクティビティ体験型宿泊施設(グランピング)の、眺望を体感できる展望デッキ、地元の農産物(信州サーモン、放牧豚、信州牛、わさび、そば、果物、ジビエ等)をシェフが提供する飲食施設、眺望を活かした温浴、サウナ施設を兼ね備えた滞在施設を官民協働で開発。 【問題点】 山頂までのアクセス道路にすれ違い困難な危険箇所があり、冬季も閉鎖になる。 【対策案】 アクセス道路の整備、路肩の危険箇所にガードレール設置、すれ違い可能な待避所を各所に設ける。観光開発が進み、観光客増加が見込まれる様なら、駅から山頂への送迎も考える。</p> <p>②松本糸魚川連絡道路にSA(道の駅) 【問題点】 県内外の観光客はもちろん、ウインタースポーツで訪れる海外の観光客など、白馬は県内有数の観光地であるが、松本糸魚川連絡道路と長野道が繋がることにより、その多くの観光客が安曇野市を素通りしてしまうことが危惧される。 【対策案】 松本糸魚川連絡道路の明科JC~対岸に渡る橋までの間に、安曇野の農産物、名産品、郷土料理や安曇野の観光スポットなどの魅力を発信するアンテナショップとしてのSA(道の駅)の設営を考えて欲しい。もちろん一般道からの利用も可能とする。</p>	<p>①については、左記施策区分の計画欄に記載の「林道重点整備・維持管理事業」の中で検討してまいります。また、②については、松本糸魚川連絡道路を活用した周辺土地利用の参考とさせていただきます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
10	3	3 産業の振興	<p>(アウトドアスポーツの拠点整備)</p> <p>①アウトドアスポーツパークの設営</p> <p>【問題点】 明科地域はリバースポーツや、長峰山でのトレッキング、マウンテンバイク、パラグライダーなど、様々なアウトドアスポーツが盛んに行われているが、アウトドアスポーツを楽しむ方々の情報交換の拠点や、新たにチャレンジするビギナーの始めるきっかけや指導を受ける場所がない。</p> <p>【対策案】 明科地域へのアウトドアスポーツの拠点整備を行う。現在の明科グラウンドを下押野地区の土取り跡地に新しく総合グラウンドとして移設し、そのグラウンド移設後の跡地にアウトドアスポーツのビジターセンターを備えた、アウトドアスポーツパークの整備を行う。</p> <p>パーク内にはビギナー向けカヌープール、スケボーパーク、3on3バスケットコート、ボルダリングなど現在のニーズにマッチした施設の他、ビジターセンター内にはアウトドアスポーツ用具のショップやレンタルブースが併設され、施設外は、緑地化され、桜などの木立やベンチなどが設置されており、龍門淵公園とあやめ公園を一連とした市民の憩いの場が期待できる。</p>	<p>ご提案については、「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」に取り組む中で、施設の内容や規模等について具体的に検討を進めてまいります。</p>
11	3	3 産業の振興	<p>(魅力的な企業誘致)</p> <p>①松本糸魚川連絡道路明科IC付近に企業誘致</p> <p>【問題点】 県外大学からのIターン、Uターン、Jターンの若者や、安曇野に移住を考えてる方の就職先につき、現在の中信地区には魅力ある就職先が乏しい、特にIT関連企業が不足している。</p> <p>【対策案】 昨年、松本糸魚川連絡道路の事業化が決定し、明科地域へのインター設置が期待されます。</p> <p>インター周辺に工業団地を整備し、大手のIT企業やハイテク企業を誘致し移住人口を増やし、日本のシリコンバレーを目指すことを望む。</p>	<p>企業誘致に関しては、左記施策区分の計画に位置付けております。そちらへのご提案として参考にさせていただきます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
12	3	5 交通施設の整備、交通手段の確保	<p>(生活の利便性向上)</p> <p>①市内要所へのネットワーク2次交通網の充実 【問題点】 現在、市内の要所(駅、公共施設、教育施設、病院、ショッピングセンター等)を定期的に周遊する松本市のタウンスニーカーの様な2次交通網が無く不便である。自家用車の普及により需要が少ないため維持ができない。しかし、今後の高齢化社会において、免許返納などにより、足を奪われ不便を強いられる住民が増えてくる。 【対策案】 比較的低コストな交通手段を考える。(電気小型バス、ゴルフカートタクシー等)市民の足ばかりではなく、観光客が利用してみたいとなるレトロやキャラクターなどの特徴ある車両。ボディに広告ラッピングしたり、ネーミングライツを募集し、広告収入にて維持費用を補填する。</p>	<p>地域内交通に関するご提案については、この11月からデマンド交通に新システムを導入したところであり、まずはこの利用促進を図ってまいります。また、「3産業の振興」の「エ 観光(その対策)」欄で、観光客の周遊の促進を図ることとしております。そちらへのご提案として参考にさせていただきます。</p>
13	3	9 教育の振興	<p>(明科高校の存続)</p> <p>①明科高校へ専科導入 【問題点】 昨今、少子化により年々生徒数が減少しており、現在、安曇野地域でも南安曇農業高校、穂高商業高校、池田工業高校の再編が問題となっており、今後、少子化が進むと、明科高校も再編の対象となる可能性も危惧される。もし、明科地域より高校が消滅してしまうと、街全体に活気がなくなり過疎化が進む要因になってしまう。 【対策案】 魅力的な専科により通学区外からの生徒を獲得する。例えば、IT系専門学校や大手IT系企業との連携により、講師を派遣してもらい、プログラミングやゲームクリエイター、ベンチャービジネスを育成するカリキュラムを設け、卒業後の進路も、企業や専門学校との連携を計る。</p>	<p>明科高校への専科設立については多くご提案頂いているところですが、こちらについては県への要望も含めて検討させていただきます。</p>
14	3	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成	<p>(ハードを活かすソフト事業)</p> <p>① SNSや様々なメディアにて安曇野市や明科の魅力を発信する 【問題点】 風光明媚な環境、素晴らしい観光施設、美味しい特産物などがあっても、それをPRするソフトが乏しいと、素晴らしい安曇野の魅力を伝えられず、今後、開発を望むハードも活かされない。 【対策案】 ホームページやSNS、TVCMなど様々な媒体を利用し、安曇野や明科の魅力をもっと発信して欲しい。もちろん制作には市民も積極的に協力していくべきである。</p>	<p>本件については、すでに市のプロモーションサイトや安曇野市観光協会のSNS等でも情報発信に取り組んでおりますので、より取組みを強化してまいります。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
15	4	-	<p>買い物はほぼ穂高、豊科へ出ます。 小学校、中学校の環境には満足していません。 たまたま児童館の申し込みの際にこの事業について聞き、意見を出そうと思いましたがそれまで全く知りませんでした。 ホームページを毎日チェックする市民はあまりいないと思うし、新聞をとっていない家も多いと思う。 子育て世代はテレビもゆっくり見れず、情報は携帯のニュースくらいで市の情報はあまり入ってきません。回覧板もちゃんと回っているのか微妙です。 若い世代の意見を取り入れるなら学校などを通してお便りやアンケートをとると有効だと思います。 これからの子供たちが住みやすい明科を作るためにも。</p>	<p>子育て世代への情報共有の手段として、学校を通じた周知は有効な手段であると考えます。ご意見はパブリックコメントに限らず市の広報を行う際の手段として、必要に応じて取り入れてまいります。</p>
16	4	3 産業の振興	<p>【公園、遊び場について】 カンダチ山にマウンテンバイクコースを作る。今でも割と登ったり降りたりしている人を見かけます。サイクリングはどこでもできます。 新しい公園をつくる。福島県の浪江町のようにポケモンのラッキー公園のような人が必ずおとずれたくなる公園。全国的に目を惹くようなものがある。ワクワクするような遊具があるとよい。水郷の町なら水タイプのポケモンとか。ポケモンのご当地マンホールをあやめ公園に設置とかでも目当てに訪れる人がいる。どこかの地区で大きなダイオウイカの模型を誘致したらたくさん人がきた、と記事で見たが、インパクトがあるものをおく、他にはない珍しいものを作る、がいいかなと思いました。 あやめ公園のきれいになった水場も、夏に子供たちが水遊びをできるようにもっと変えてほしいです。きれいなものにもったいない。奥地にあるのであまり気づかれないかも。南部公園や芳川公園、空港にある噴水はいつも人気で混んでいる。プールがなくなって、海も遠く、夏は暑い。気軽に水遊びできる公園は人気。大型のネット遊具なども人気。マシュマロドームとかも楽しい。</p>	<p>マウンテンバイクコースについては、「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」と併せて検討してまいります。 公園・遊び場については、「公園施設整備事業」に対するご要望として承ります。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
17	4	3 産業の振興	<p>【アクティビティ、レジャーについて】</p> <p>明科に来て一日中、最低でも半日は遊べるようなレジャースポットを作らないと行こう、とは思えない。食べる、遊ぶ、体験するが一体化が理想。白馬にあるような体験型のアスレチックを廃線敷の近くにあると行きやすい。目玉になるかなと思った。</p> <p>潮神明宮には、ブランコや鉄棒があったのいつの間になくなっていく。公園がなさすぎる。こどもの遊ぶところがなさすぎる。浄化センターあたりに公園があってもいい。</p> <p>スケートボードの本格的なパークを作ってもいいと思う。豊科のANCアリーナのようなただ平なだけの中途半端なものはいらない。これからよくなるとは聞いていますが、少しせまい。</p> <p>屋内型の遊ぶ場所があると天候に左右されず遊びに来れる。</p> <p>塩尻市の小坂田公園を改築しているが、とても楽しそうな施設のプランにワクワクする。</p> <p>サッカーの練習施設があってもよいと思う。なかなかないし、どこも競合してなかなか練習場所がない。</p> <p>サイクリングコースはどこにでもある。</p> <p>カヌーをやる人は少数すぎる。カヌーの整備はプロ向けで、よいと思うがもっともっと一般人が取り組みやすいアクティビティがよいとおもう。今ならラフティング、SUPが人気。やっている人は多いが、できるところが限られているものに特出して力を入れれば自然と人が集まるようになる。</p> <p>マウンテンバイク、スケートボード、SUP、本格的アスレチック、スラックラインなど。</p> <p>有名なマウンテンバイクやスケートボードの一人者にコースをレイアウトなどしてもらおうと宣伝になると思う。</p> <p>マウンテンバイクやスケートボードを好む人は夏にそれらを遊び、冬はスキーやスノーボードをする人も多い。</p> <p>夏のアクティビティが充実していたら明科からなら白馬までも1時間くらいで行けるし、拠点に考えて移住してくる人もいないか。</p> <p>廃線敷もとてもよいロケーションでめずらしいが、ファミリーを呼ぶにはやはり遊具がないとリピートは厳しい。</p> <p>行ってみたいが駐車場の場所がわからないと言われたことがある。入り口に奥穂高岳の紹介看板があるあたりに大きな額縁？写真の大きなフレームみたいな置物など置いてみたら写真映えして景色もきれいでいいんじゃないだろうか。長峰山の頂上とかでも綺麗だと思う。今はどこでも携帯で写真を撮るので、観光名所になるかも。</p> <p>願いが叶う、とかパワースポット、とかは行きたくなる場所。</p> <p>廃線跡の途中途中にアスレチックや、ストレッチ遊具があってもよいと思う。廃線敷で行われるハロウィンイベントをもっと大々的にやってみたら人気が出ると思う。</p> <p>カンダチ山から長いジップラインや、平地にスラックライン、危なくない程度の大きいブランコとか、インスタ映え、とかも目的で来る時代なので写真映えのするものを目的で作ってもよいと思う。長峰山も頂上の眺めはきれいだし、頂上にブランコとか長い滑り台とかどうだろうか？</p>	<p>アウトドアの充実は、今回の計画の中でも重点として捉えている事項であります。</p> <p>今後「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」に取り組む中で、具体的に検討を進めてまいります。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
18	4	9 教育の振興	<p>【小学校、中学校について】 小学校は統合に向けて準備を加速すべき。 お互いの学校によいところはあるが、近々必ず一緒にしないと両校が成り立たなくなる。 こども園がほぼ統一されているような物なので早いタイミングで切り替えるべき。 大きな学校にある当たり前にあるようなクラブ間活動や部活動ができない。 クラブチームに入るには豊科や穂高まで行かなくてはならず、結局親の送迎によるものとなる。 もっと明科内でかけっこクラブのような陸上や体操、サッカーなども体験させてあげたい。学校が統合してできるならば選択肢が増えるということによりよいことだと思う。 中学の部活も外部コーチを入れて部活動としてもっと盛り上げてもらいたい。 スクールバス、自転車通学の道を整備すべき。 明北小学校からの児童館が遠すぎる。 児童数が少ないので少人数、もしくは1人で低学年を児童館まで通わせるのが心配。 移住者、定住者は若い世代も見込んでいと思うし、共働きが今の時代は当たり前。 移住者には近くに親戚、祖父母もいないから子供を預ける、見守る施設は必ず充実していることが大前提だと思う。 あまりに少ない児童数では役員の負担や行事の盛り上がりもかける。 豊科南は公園の充実、小学校に隣接した児童館、分譲地の開拓が進み人口が増えている。 参考にするとところが多いと思う。</p>	<p>学校の在り方については、今回のパブリックコメントに限らず、さまざまなご意見をいただいているところです。 計画にも記載したとおり、明科地域の小中学校については小中一貫教育研究の指定校となっておりますので、その過程において検討いたします。</p>
19	4	-	<p>【明科の利便性について】 塔の原の信号機を二車線にするべき。 毎朝、夕方の渋滞がひどい。 安曇野北インターの早期着工。 明科駅前にマルシェが行える噴水広場みたいな公園。 近代的なおしゃれなお蕎麦屋さんとかがあってもいいかと思う。白馬のスキーピークのようなシンボリックな建物があると駅前で目を惹くと思う。 スーパー、ドラッグストア、100円ショップがあると買い物は明科で完結できそう。 色々なことを開拓するには今まで住んでいる先住の人の意見もあると思う。 何かにつけて反対ばかりする世代の意見を聞くよりも、これからの子供達のことを考えた開拓をすすめてほしい。このままでは自分もいずれ明科を出て違う場所に移り住むと思う。人がいなくなるとは元も子もない。</p>	<p>明科地域の環境について多角的な観点からご提案いただきましたので、本計画推進の際の参考とさせていただきます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
20	5	1 基本的な事項	<p>【エリアビジョンの策定】 明科地域を安曇野市における「どのようなエリアとして位置づける」か。コンセプトワークが必要と考えます。それを実現する明科地域の開発の方向性、明科駅の役割(安曇野のゲートウェイ。インバウンドは個人旅行であり、公共交通利用が多い)を明確化。</p> <p>「自然教育の場」をテーマに、「教育振興地域」として位置付けることはいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蝶々の里、野鳥の飛来地、フォッサマグナなどのジオパーク、明科廃寺をめぐる白鳳時代の大和朝廷と安曇野の関係性、篠ノ井線開通に向けた明治大正の近代史と安曇野など地理歴史文化などテーマが豊富であること。 ・教育水準を上げて、地元の良さを伸ばし、また、課題解決ができる人材を育成し、産業を興す土壌を育み、国の制度に依存するだけでない新たな価値を生み出すエリアに生まれ変わることを目指すこと。 ・民間でできることは、民間に委ねる。そのためのエリアビジョンの策定(オープンな議論)。 ・民間への優遇措置(免税、減免措置、特区)。民間を動かす仕掛けを作っていくこと。 ・稼ぐ地域に生まれ変わる(木材集積地、生糸の集積地として、かつては、稼ぐ地域でした。これからはアウトドアスポーツ・観察・体験の地域としてインバウンド需要も獲得しつつ、稼ぐ地域にしていくことが肝要かと思う。) <p>「(トータルで)学力向上、特色ある人材の輩出」 明科北認定こども園 信州山保育 / 明南明北小・明科中(自然科学教育・数学) 明科高校サバイバル(自然・環境・歴史・文化・数学・語学)教育 アウトドア関連部活動/自然科学関連研究機関(新規)/公民館活動(連携)</p>	<p>明科地域単独でエリアビジョンを策定する予定はありませんが、各過疎対策事業を進める際には、必要に応じて目標やロードマップ等を示すビジョンや計画を作成してまいります。</p>
21	5	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成	<p>【移住・定住の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京・名古屋・大阪で移住者向け説明会キャラバン（明科駅との距離感を示しながら、安曇野全体をアピールしていく） ・移住者が地域に溶け込む仕掛け(里親制度など、移住者に地元の世話役をつける) ・公民館活動の活発化(若い子育て世代の連携や、出会う機会の提供) ・地域の託児所(母親が休める空間)を空き家を絡めて設置(畳の大広間)。 	<p>移住希望者向けの説明会については、県等が実施する移住セミナーへの参画や、市独自にオンライン相談会の開催を予定しています。</p> <p>移住者が地域に溶け込む仕掛けについては、区への加入促進により地域との関わりを強めていただきたいと考えています。</p> <p>子育て世代の連携や出会いの場の提供については、各地域で子育てサークルが活動をしていますし、児童館が現在その役割を担っていますので、そちらの充実に努めます。また、空家を活用した託児所の設置については、事業者からの要望があれば空き店舗利活用の支援は現在も可能となっております。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
22	5	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成	<p>【空家対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家持ち主への啓蒙イベント。特に経済的な切り口で(税金、相続、近隣の迷惑、まちづくりなどのテーマを経済セミナーでつなぐ。不動産物件のキャッチ&リリースの仕掛けづくり) ・県外の所有者対象の説明会(関東地区 銀座NAGANOで開催) ・常会、区との連携強化(空き家持ち主の特定。連絡係。通信費の支給) ・空き家対策を含む地域集落の今後について、各地域で話し合う場を設ける(空き家予備軍の把握。開発計画。) 	空家所有者に対しては、啓蒙や相談を行っています。また、空家対策については現在も地域の皆様にお力添えいただいておりますので、引き続きご協力をお願いしてまいります。
23	5	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成	<p>【シティプロモーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム・学会・研究会(コンベンションビューロー) ・フェス(長峰山頂、龍門淵・せせらぎ周辺を会場に) ・映画ドラマのロケ収録(信州出身プロディューサー、作家などにアプローチ)、CM撮影 ・アニメーションにリアルな地域の風景など描いてもらうなど(参考「咲」小林立) <p>(カヌー、ラフティング、ハング、自転車などアウトドアをテーマにする内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK「72時間」(長峰山頂発射台の前で、雲海の季節、水鏡の季節、花火の日など)「甲信越小さな旅」 	ロケ支援については現在も取り組んでいるところで、これまでに明科地域でも映画等の撮影が行われたほか、この11月にはNHKの人気番組の冒頭に長峰山が登場するなど関心を集めているところです。今後も引き続きロケ支援等の充実を図ってまいります。
24	5	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成	<p>【明科地域づくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を住民自らが考える。シンポジウムの企画立案、開催準備などの実行組織を若者主体で立ち上げる ・考えて、意見を出し合って、自ら行動する力を醸成 ・地域おこし協力隊の投入 	地域の皆様自らが行動していくというご提案は、非常に心強いものです。今後各事業を進めるにあたって、地元の皆様にもお力添えいただく場面を創出するようにいたします。
25	5	3 産業の振興	<p>【農林水産業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地の開墾(ワイン用ブドウ、園芸農業、各種法人との協働) ・農業法人の設立支援 ・長野県水産試験場との連携。 ・信州サーモン、大玉イワナ、ニジマスなどの直営飲食店(犀川漁協と連携)。 ・養殖場の設備投資補助(生産性の向上、泥臭さ生臭さの解消) ・ブランド化発信(各国大使、国家元首晩餐会、航空会社国際便の機内食など) ・里山整備(補助金) 	過疎地域の持続的発展において、地域の産業振興は欠かせない取組であり、計画の中でも各業種、従事者への支援を盛り込んでいます。どのような事業に取組み、支援を行っていくのか具体的な検討を今後行ってまいります。

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
26	5	3 産業の振興	<p>【商工業の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特色ある商業(古着、中古家具などSDGsに絡めて)の集積 ・ 特色ある工業の周辺事業誘致集積 <p>【雇用創出・創業支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性創業者輩出日本一の地域に(長野県産業労働部創業サービス産業支援室連携) <p>フリーランスから、法人化へ事業を進展し、雇用を創出。目標を決めて、フェスや相談窓口、補助金など国・県の事業とリンクさせて、ワンストップで対応。関連事業の手当て(こども園の受け皿。関連住宅供給。フェスの開催場所の確保。全国発信。ブランド化。)</p>	<p>過疎地域の持続的発展において、地域の産業振興は欠かせない取組であり、計画の中でも各業種、従事者への支援を盛り込んでいます。どのような事業に取組み、支援を行っていくのか具体的な検討を今後行ってまいります。</p>
27	5	3 産業の振興	<p>【観光 アウトドアの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カヌーをはじめ、パラグライダー、自転車(ロード、MTB)、長峰山・廃線敷・犀川白鳥湖などへのトレッキングなどアウトドアスポーツ、ジオパークなど地歴、明科廃寺などの博物館などビジターセンターとして集積(現あやめグラウンド) ・ 指定管理者の想定は、スポーツ系ビジネス会社、広告会社、旅行会社 ・ 特色ある設計事務所による集約された建築物の設計(候補地あやめグラウンド)または、まちなか物件や、空き地を利用した複数の建築物を地元設計士が分担して物件をリノベ改築し、面でビジター機能を持たせる案。 ・ (上記ビジターセンターをあやめグラウンドに設置する場合の代替地としても)押野土取り跡地の天然芝コート化(サッカー・ラグビーなどアウトドア球技や、野球場など合宿誘致) ・ 土取り跡地は、夜空の観察地としても適地。 ・ 荻原農村グラウンドの改修(野球関係人口の維持拡大)。駐車場、スタンド整備。土の入れ替え。排水の能力向上。土取跡地のグラウンド化に連携し、連絡道路で結ぶことで相乗効果。 ・ 両グラウンド野球場は防災拠点の機能追加。 ・ 安曇野花火、薪能など屋外イベントのコンテンツを洗練させる。プロモーション、JR連携。 	<p>カヌーをはじめとしたアウトドアのセンター機能については、「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」として取組みます。この中で施設の内容や規模、設置場所等の具体的な検討を進めてまいります。</p>
28	5	3 産業の振興 ※施策区分 「10集落の整備」とも関連	<p>【土地の有効利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町中の市道の幅員の連絡道路で、土地の接道要件化することで、まちなかの利用不能土地の流動化を進める。駅前の住宅事情が改善される可能性がある。民間による駅前集合住宅の建設も視野に入る。 ・ 荒廃農地、休耕田などの宅地転用推進。 	<p>まちなかの道路については、現在明科駅前整備と併せて一部区間を整備しているところです。本件については、今回のパブリックコメントで他の皆様からも路地の活用や周辺整備等のご意見もいただいています。左記のご意見については、他の事業と併せて検討してまいります。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
29	5	3 産業の振興	<p>【交通の要衝、安曇野の玄関口（観光振興（駅とのアクセス））】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安曇野のゲートウェイ」松本市四賀方面、生坂八坂方面、西条坂北方面、池田松川方面、穂高豊科堀金三郷方面など市外と篠ノ井線明科駅、松糸道路とのアクセス。 ・交通の結末点。明科の特徴は、安曇野市内のみならず周辺市町村との接点があること(周辺市町村との広域連携)。 ・松糸道路特急バスの発着所を明科駅前に設けることで、明科駅のターミナル機能強化。 ・現在の経路の変更 明科―安曇追分間の直通運転。 ・快速運転。明科―穂高間の電気バス・Newあづみんによる大糸線・篠ノ井線の接続。 ・域内の3次交通 ゴルフカートタクシー(単線誘導レール敷設による自動運転) ・長峰山山頂、廃線敷、せせらぎにカートタクシー接続 ・アウトドアの体験型観光を受け入れる際、海外の観光客は公共交通を利用するため、明科駅の位置づけが重要になる。 	<p>地域内交通に関するご提案については、この11月からデマンド交通に新システムを導入していることから、まずはこの利用促進を図ってまいります。</p> <p>その他ご提案については、民間の参入を誘導できるよう、まずは地域の賑わい創出に取り組めます。</p>
30	5	3 産業の振興	<p>【交通の要衝、安曇野の玄関口（観光振興（JR関係））】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明科駅に特急しなの全便停車(篠ノ井線すれ違い停車時にドア開放するだけでも停車便数が増える)。2番線を利用し、各駅停車との接続、連携。北陸新幹線との接続向上。 ・長野(北陸新幹線)―明科(松糸道路)―松本(中央東線・大糸線)―岡谷(飯田線)―飯田(リニア中央新幹線)連絡特急 ・篠ノ井線活性化を沿線自治体で安曇野市が中心になって推進 ・上記冠着トンネル老朽化によるバイパス路線の大胆な検討(貨物輸送の大動脈を念頭に) ・JR明科駅構内の有効活用。橋上ホテル。駅直結のJRビジネスホテル。合わせて橋上駅、エレベーター問題を解決。橋上駅部とウッドデッキで国道横断や林道をショートカットし、導線として山、川へのアクセスを向上。(アウトドア観光支援) 	<p>篠ノ井線の活性化については、市も加入する「篠ノ井線松本地域活性化協議会」により、イベントの開催やウェブサイトでの情報発信などにより取り組んでいるところです。</p> <p>JR駅施設に関するご意見は、JRへの要望含め検討させていただきます。</p> <p>なお、エレベーター等JR駅構内の設備については過疎対策事業債の対象とならないため、市の単独事業として実施することは困難と考えます。</p>
31	5	3 産業の振興	<p>【交通の要衝、安曇野の玄関口（観光振興（駅周辺等））】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、宅配拠点、保険証券等支店。町中華、料亭、レストランなど接待打ち合わせ・会議レセプション会場としての飲食店集積。中核店舗の設置(安曇野市商工会との連携、駅前ビジネスホテルレストランなど) ・駅前に特色あるイン・ビジネスホテルの誘致(外資系イン。例えばオーストリア、フランスのホテルなど。友好都市または、山岳観光を共有する国。デリシアが地権者でもあるため、エースインも候補。デリシア連携の場合は松糸道路特急バスターミナル併設)(関係大使館との情報交換、デリシアとの連携) ・観光客インフォメーション設置、免税店設置。 	<p>企業誘致に関しては、同施策の「その対策」欄及び「計画」欄に記載しているところですが、民間の参入を誘導できるよう、まずは地域の賑わい創出に取り組めます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
32	5	4 地域における情報化	<ul style="list-style-type: none"> ・電子回覧の全戸配布 ・あづみ野FM連携タブレット、登録飲食店出前、テイクアウトの申し込みなど飲食店との連携 ・地域内のクレジット、スマホ決済の普及 	デジタル技術の活用に関するご提案として庁内関係部署に共有し、今後の参考とさせていただきます。
33	5	5 交通施設の整備、交通手段の確保	<p>【明科駅の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明科駅ホームに特急停車位置の表示がない ・明科駅の橋上駅化（スカイドームを跨線橋として活用）、展望デッキ（鉄っちゃん開放）、スカイドームから2番線に階段（自動改札）、エレベータ設置（JR跨線橋老朽化のため、代替跨線橋として） 	<p>JR 駅施設に関するご意見は、JR への要望含め検討させていただきます。</p> <p>なお、エレベーター等JR駅構内の設備については過疎対策事業債の対象とならないため、市の単独事業として実施することは困難と考えます。</p>
34	5	6 生活基盤の整備	<p>【上下水道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明科単独処理施設の閉鎖の上、長野県設置の流域下水道に接続。閉鎖後の明科単独処理施設で河川のごみや水質の浄化を加速 ・上水道水源・採取地の明記(ブランド化) 	<p>明科地域の污水処理施設は段階的に統廃合を進めていきます。なお、施設の後利用につきましては、これから検討していきます。</p> <p>水道水については、現在「安曇野の水」としてペットボトル水を作成し、市のPR事業等で配布しておりますので、引続き情報発信に努めます。</p>
35	5	6 生活基盤の整備	<p>【廃棄物処理施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新クリーンセンターの登録制キャッシュレス決済 	本件については、施設を運営する穂高広域施設組合においてご判断いただく事項と考えます。
36	5	6 生活基盤の整備	<p>【ビジターセンター（新設）に防災機能を追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジターセンターに機能追加し防災の拠点化、非常時のまちなか誘導看板の設置。電子回覧板で消息確認。避難状況の把握。エリア内の被害状況の即時把握 	ビジターセンターについては、「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」に取り組む中で、検討を進めてまいります。災害時の拠点機能の追加等については、ハザードマップと照らし必要性を判断していきます。

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
37	5	6 生活基盤の整備	・一戸建て賃貸住宅（地域内空き地・空き家の利活用）公設民営またはPFI	現時点で市として整備の予定はありません。
38	5	7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	・子育て奨励金（毎月1万円/人 高校卒業まで）	ご提案の内容については財政上の課題がありますので、その効果を他の取組と比較し必要性を判断すべきと考えます。
39	5	7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	・電子回覧板のフル活用で、高齢者ネットワーク(リモート茶話会)	現在の一般的な機器では、オンライン上で大勢がやりとりする際に音声聞き取りづらいなど、導入に向けた課題が多いと考えます。
40	5	8 医療の確保	・勤務医向け住宅。勤務医の独立支援	ご提案については、現時点で取り組む予定はありません。
41	5	8 医療の確保	・フリーランス医師による訪問診療（へき地医療・自治医科大学、信州大学連携）と共同見守り宿泊施設（簡易病棟）	ご提案の内容については、市内には往診専門の医師もいるほか、各医療機関でも往診を行っておりますので、市として実施の想定はございません。
42	5	8 医療の確保	・水資源を生かした透析専門病院と、メディカルツーリズム。海外透析患者のツアー受入れ	市として病院の整備予定はなく、ご提案の取組についても想定はございません。
43	5	9 教育の振興	・退職教員による公設塾（こどもの基礎学力の向上）。寺子屋(大人も学べる。教育指導要領に縛られない諸説)。 ・特色ある教育、学力向上のモデル事業(文部科学省)自然科学、数学教育に力点。歴史教育。語学(英語+α)に特色(ひいてはインバウンドを呼び込むことになる)。	ご提案については、計画のうち左記施策区分の「ア 学校教育（その対策）」の項目において取組むこととしている「コミュニティスクールの活性化」や「安曇野の時間（仮称）」の創設等にあたっての参考とさせていただきます。

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
44	5	10 集落の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・3世代同居住宅に奨励補助(家庭教育、子育て、家計収入など効率的な形態) ・限界集落の立て直し。移住拠点を整備し、移住者の誘致。地域づくり応援隊の投入。 ・文化歴史の掘り起こし(平家の落人の里、デイダラボッチ、明科廃寺etc) 	限界集落の立て直しにあたっては、市として可能な範囲で支援を検討してまいります。
45	5	11 地域文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇族の痕跡を探る(明科廃寺、デイダラボッチ伝説、犀竜小太郎伝説)。 ・発掘調査と超音波探知機などによる非発掘調査の融合ですべて発掘ではなく全貌を解明。 ・「廃寺」「安曇族」「邪馬台国」「大化の改新・壬申の乱」などに関する学会誘致 	ご提案の内容については、左記施策区分の「ア地域文化の振興等(その対策)」欄において、「地域の歴史遺産等の魅力発信」努めるものとしていることから、そのご要望として承ります。
46	5	11 地域文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジターセンター(アウトドアスポーツ拠点)と並べ、博物館を設置(地域の文化、歴史、地質など紹介。自然教育の拠点)。「静」(博物館)と「動」(アウトドアスポーツ拠点)で構成する。両施設をレストランでつなぎ、地域の食材を提供する。 ・お舟祭りのコンテンツ化(市内各地域のお舟を一堂に集める新たなお祭り)宮中、萩原地域 ・龍門淵公園を会場に、「龍門淵マルシェ」「学生主体のウォータースポーツ大会」「青空古本市」他文化芸術スポーツのメッカに位置付ける。 	<p>1及び3項の「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」に付随する事項は、拠点整備の内容に含めて今後具体的に検討を進めてまいります。</p> <p>2項については、左記施策区分の「ア地域文化の振興等(その対策)」欄において、「地域の歴史遺産等の魅力発信」に努めるものとしていることから、そのご要望として承ります。</p>
47	5	12 再生可能エネルギーの利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・犀川を吹き抜ける風力発電(川に沿う形で設置) ・中部電力犀川水力発電所(まちなか発電所、珍しい)の改修・まちなかツアーで見学会 ・ビジターセンター(アウトドアスポーツ拠点)に環境省など外郭団体入居(野鳥観察、ジオパーク、水資源、再生可能エネルギー対策など)継続的な国家予算を確保。関係人口。全国発信。 	現在、次期地球温暖化対策実行計画を策定中であり、ゼロカーボンの実現に資する施策についてもその中で検討しています。 ビジターセンターへの各種団体の入居については、整備方針の検討のなかで判断すべき事項と考えます。

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
48	6	7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの施設整備、環境整備については、学校教育課から示されている「安曇野市立小・中学校の将来構想」と併せて進めていくことが必要不可欠だと思う。 ・明北小学校と明南小学校の統合については、スクールバス等の事業を早期に検討し、いち早く実施していただきたい。 ・放課後児童クラブは、明南小学校敷地内で開所できることがのぞましい。 ・明科児童館については、「明科こどもと大人の交流学習施設整備事業」に併せ、松本市の「アルプキッズ支援事業」に類似した機能を導入したら良いと思う。 ・明北小学校の後活用には、「多目的施設」とし、自然体験をイメージした事業を展開する。また、アウトドアスポーツと関連させ、休憩・宿泊所を設け、高校・大学生の合宿受入れを可能にする。 	<p>学校の在り方については、今回のパブリックコメントに限らず、さまざまなご意見をいただいているところです。</p> <p>計画にも記載したとおり、明科地域の小中学校については小中一貫教育研究の指定校となっています。放課後児童クラブについては学校の在り方と密接な関係がありますので、上記と併せて検討してまいります。</p>
49	7	1 基本的な事項	<p>【地域の持続的発展のための基本目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市の中でも明科という地域は歴史も古く、JR明科駅は東の玄関口として東京より最速で到着できる ・明科駅にしなの全線停車により安曇野市へのアクセスが良好になる ・アウトドアスポーツの集中により明科をメッカに ・アウトドアスポーツの教育により明科への移住定住者が増え、特色ある教育の場として価値・評価の向上が見込まれる 	<p>JR 駅施設に関するご意見は、JR への要望含め検討させていただきます。</p> <p>アウトドアの充実は、今回の計画の中でも重点として捉えている事項ですので、拠点整備と併せて検討してまいります。</p>
50	7	2 移住・定住・地域間交流の促進・人材育成 ※施策区分「3 産業の振興」、 「9 教育の振興」とも関連	<p>【アウトドアスポーツ教育による移住定住増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアスポーツ教育の特色を学校に生かすことによる人気アップ ・アウトドアスポーツ教育指導者の育成 <p>明科を特化することによりこれらが実現可能となる</p>	<p>アウトドアの充実は、今回の計画の中でも重点として捉えている事項であります。</p> <p>明科高校への専科設立については多くご提案頂いておりますので、こちらについては県への要望も含めて検討させていただきます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
51	7	5 交通施設の整備、交通手段の確保	<p>【JR明科駅のしなの全線停車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR明科駅のしなの全線停車により安曇野市へのアクセスが増える ・明科駅からの安曇野市全体の交通網の強化により都市圏との移動が早くなる 	<p>J R 駅施設に関するご意見は、J R への要望含め検討させていただきます。</p> <p>地域内交通に関するご提案については、この11月からデマンド交通に新システムを導入していることから、まずはこの利用促進を図ってまいります。</p>
52	7	7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	<p>【アウトドアスポーツ教育による特色ある学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明科に育ってよかったと思える環境、都会に出たあとも故郷に帰りたくなるような思い出作り ・同時に宿泊施設のあり方が急務となるので、センターハウスの建設と宿泊可能施設の検討を 	<p>アウトドアの充実は、今回の計画の中でも重点として捉えている事項であります。</p> <p>センターハウス機能については、「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」に取り組む中で、施設の内容や規模等について具体的に検討を進めてまいります。</p>
53	7	9 教育の振興	<p>【アウトドアスポーツ教育に関する冬季のトレーニング場所の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアスポーツ教育には冬季のトレーニング場所も必要となる。冬季または雨天等でも使用できる設備、そしてテニスコートについてもお願いしたい。冬季の練習、トレーニングができると教育の広がりが期待できる。併せて、アウトドアスポーツも天候不順時に別の楽しみも出来る利点もある。 ・室内競技も合わせて多目的な利用可能な施設があることにより、応用の効く教育に繋がると考える。 	<p>ご提案の内容については、「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」に取り組む中で、施設の内容や規模等について具体的に検討を進めてまいります。</p>
54	8	3 産業の振興	<p>【アウトドアスポーツ・アクティビティ】</p> <p>明科地域は平坦な土地が少ない分、里山が身近に感じられ親しみやすい場所が多く、かつ三川合流により清らかな水が豊富である。これら他地域にない特徴はアウトドアスポーツ・活動を楽しむには最適の場所と言える。</p> <p>これら特徴を活かし、地元市民も楽しめる体験型施設の充実と活動拠点を設置し、種々の情報を発信することで県内外から人を集め地域の活性化を目指す。</p> <p>アウトドア活動とは、野外で体を動かすことなら遊びから仕事まで何でもよい。野外で役立つ知識の習得もよい。</p>	<p>ご提案の内容については、「アウトドアスポーツ拠点施設整備事業」に取り組む中で、具体的に検討を進めてまいります。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
55	9	2 移住・定住・地 域間交流の促 進・人材育成	<p>【地域おこし協力隊の明科地域の配置】</p> <p>ミッションのメインテーマを「明科地域の活性化」とし、サブテーマとして、移住促進、空家活用、里山などにおける地域活動、アウトドアツーリズム・滞在観光など多様な分野に関わるようにする。</p> <p>地域おこし協力隊員は、既存の活動、部署、人材を横串にし、繋ぎ合わせる役割を担う。</p> <p>この活動を果たすために、明科支所と市民運営のまちづくり拠点龍門測てらすの二拠点に席を置く。(半支所半龍門測てらす)</p> <p>まちづくりにおける、官民連携の新たな取り組みのトライアルとする。</p> <p>支所と龍門測てらすの双方に地域おこし協力隊員を活かし、発揮させる体制を作る。</p>	移住定住に関する地域おこし協力隊については、どのような形で隊員に活動してもらうことが効果的か等、導入に向けた研究を行います。
56	9	2 移住・定住・地 域間交流の促 進・人材育成	<p>【シェアハウスとゲストハウスの兼用も鑑みた宿泊・滞在拠点の設置】</p> <p>まちづくりや市民活動の盛んな明科地域において、現状足りないものは宿泊拠点である。</p> <p>空家を活用したゲストハウス（短期宿泊）、或いはシェアハウス（中長期滞在）を作り、明科地域活性化のファクターとして位置づける。</p> <p>既に民間事業者が国の補助金を活用してゲストハウス整備を進める計画があるが、発展計画の中に位置付けて、相乗効果が上がるようにする。</p>	ゲストハウス、シェアハウスについては、民間事業者による取り組みを期待しております。
57	9	7 子育て環境の確 保、高齢者等の 保健及び福祉の 向上及び増進	<p>【明科地域の地域包括支援センターの設置】</p> <p>現在市には3カ所の地域包括支援センターがある。明科地域は中央包括が担当している。</p> <p>安曇野市老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画の中では、旧5町村を日常生活圏域（中学校区）としているが、住民の身近な相談窓口である地域包括支援センターが明科には無い。</p> <p>令和2年4月1日現在の日常生活圏域ごとの高齢化率は明科が39%、穂高が31.7%、豊科29.7%、三郷と堀金が29.2%。</p> <p>令和元年度の地域包括支援センターの利用率は明科は9.6%、穂高が14%、豊科が12.1%、三郷が14.7%、堀金が11.7%となっており、高齢化が進んでいる明科の利用率が低い。明科地域にも設置すべきだと考える。</p>	地域包括支援センターの設置数等を検討中で、第8期介護保険事業計画期間中に方針を定めることとしております。

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
58	9	7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	<p>【自然保育のアピールとくじら雲ブランドをより活かす】</p> <p>明科北認定こども園は市内でも民間事業者くじら雲に委託し、唯一やまほいく特化型を行い自然保育の推進をしている。これは市のチャレンジでもあり、明科地域の強みの一つでもあるが、そのアピールが足りないのではないかと懸念されている。</p> <p>市ホームページの「幼稚園・保育園・認定こども園」を見ても、様々な情報と並列しており、自然保育の良さが強くは伝わってこない。</p> <p>また、自然保育においては全国でもトップランナーである委託先事業者「くじら雲」は、認可外園で行っていた時代は、くじら雲としての露出も頻繁にあり、かつこの園で子どもを育てたいという子育て世代の移住者が多かった。</p> <p>市の委託業者になってからは、公立園の一つという位置づけ、平等性のためか、くじら雲ブランドを活かしきれていないように思う。</p>	<p>ご意見にございますとおり、くじら雲はたいへん知名度が高く、市内への移住推進にもつながっていると考えております。</p> <p>現在、自然保育については、地域おこし協力隊員による情報発信等行っております。また、本計画においても「あづみの自然保育ブランディング事業」として取り組んでいく方針でおります。</p>
59	9	7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	<p>【明北小学校を総合学習を一層取り入れたより特色ある学校に】</p> <p>自然保育特化型で育った明科北認定こども園の子どもたちの多くが通う明北小学校を、よりその育ちを伸ばしていくカリキュラム（総合学習により力を入れる）に替え、保小接続に継続性・一貫性を持たせてはどうか。</p> <p>※探求学習に力を入れる参考事例として伊那市立伊那小学校がある。</p> <p>先日伊那市立伊那小学校に視察に行ってきた。</p> <p>探求学習（総合学習）に力を入れ、それを軸・ベースにして学校生活が展開していく。</p> <p>探求学習を基点に、そこから教科学習へと分化していく学びのスタイルは、子どもたちの主体性や自発性、自ら考え、自ら決めていく力を培わせている。</p> <p>仕事柄、移住相談をよく受ける。</p> <p>安曇野市へ移住する子育て世代は、自然保育に関心があり、安曇野を選んでいる。</p> <p>一方、「（自然保育で育った子どもたちの次のステージの）小学校はどうか？」という質問に対して、あまり明確に答えられない。</p> <p>市内10校の小学校の中で、明科北子ども園のように、明北小も特徴を持たせて、明科地域への移住促進をできないか。単級の小規模校でモデル的にトライできないか。</p> <p>※伊那小視察時に聞いたところでは、昨年は約30名の子どもの市外からの転入があったとのこと。</p> <p>伊那小校区に子育て世代が移住をしてきている。</p>	<p>計画のうち「9 教育の振興」の「ア 学校教育（その対策）」の項目において、「安曇野の時間（仮称）」の創設に取組む旨を盛り込んでいます。</p> <p>いただいたご意見については、そのカリキュラムを検討する際の参考とさせていただきます。</p>

提案No.	提出者No	施策区分 (計画項目)	意見・質問 (概要)	市の回答・考え方
60	10	2 移住・定住・地 域間交流の促 進・人材育成	<p>【エリア再生およびエリア仲介の仕組みの提案】</p> <p>「個々の空き家物件」では外から見ての魅力はない。その「エリアの価値」のほうが大事。その意味で、まちの歴史やそのなかにある個々の物件のストーリーなども紹介する「まちあるき」はとても大きな意味を持つ。不動産仲介ではなく「エリア仲介」のような仕組みをもう少し整理する必要があるし、そこに大きな意義を感じる。</p> <p>エリア（イメージとしては明科駅周辺地域、押野地域、天神原地域など）が目指す方向をエリアごとにある程度設定し、イメージを共有することが大事。そのための仕組みとして以下の3つが考えられる。</p> <p>①エリア価値向上のための空き家や空き店舗の利活用</p> <p>事業性とともに、まちエリアが目指す内容を取り込んでいくことが大事。</p> <p>広く浅くの補助でなく、エリアに特化して、気持ちの入った人に補助金を集中支給する仕組みの導入</p> <p>②エリア価値維持のための空き家や空き地の管理</p> <p>域外所有者や高齢者、仕事が忙しい方の物件の管理</p> <p>エリア内にある物件の所有者や居住者の困りごとなどもヒアリング</p> <p>事業化により雇用を創出する</p> <p>③エリア特化型の空き家や空き地のマッチング（仲介）</p> <p>エリアが目指す方向に合う人や事業を積極的に誘致する</p> <p>空き家の所有者が安心してまかせられるような仕組み（官民協働）</p> <p>※官民協働の仕組みや拠点があるのが望ましい</p> <p>（例）前橋市の「マチスタント」、北九州市の「小倉家守プロジェクト」など</p>	<p>空家等の資源の利活用は、地域再生の手段として重要であり、地域に新たな価値を創出するため、特色あるエリアを設定し目指す将来像を明らかにすることは有益と捉えています。</p> <p>このため、エリアを指定する根拠や目標を検討するとともに、点在する空家等の利活用促進に向けた取組みなど庁内関係部署と研究いたします。</p>
61	11	3 産業の振興	<p>【スポーツと観光の融合】</p> <p>当地区は観光ポテンシャルが高い地域であり、特に北アルプスと対峙する東山周辺は地域住民が身近に感じて、とても愛されている場所だと思っています。</p> <p>そこに、スポーツと観光との融合をメインテーマに一体整備を提案します。</p> <p>具体的には長峰山のハングライダー、パラグライダー発射台を整備するとともに隣接して観光客用の展望テラスデッキを併設し、岩岳テラスデッキや雲海テラスデッキのようなインスタ映え効果を狙うことで観光客誘致を図り、当地区の認識度アップのツールとする。</p> <p>また、トレッキングコースの整備を進め、隣接する光城山公園、桜十北アルプス連峰十安曇野田園風景が遠望できる場所にも展望ポイントを設置して、東山周遊ルートを整備すれば地域住民の健康増進に加えて、観光客誘致に伴う地域経済の活性化を図れるものと思います。</p>	<p>ご提案の内容については、左記施策区分の計画欄に「東山トレッキングコース整備事業」及び「ハングライダー、パラグライダー発射台整備等」として計画に盛り込んでおります。そちらに対するご要望として承ります。</p>